

会員のひろば

問題社員対策の実務書を出版 – 法的リスクを避ける現場対応とは！



上野労務経営法律事務所

- ◆代表弁護士：上野 俊夫
- ◆住所：館林市本町 2-2-14 2階
- ◆TEL：0276-56-4736
- ◆FAX：0276-56-4735
- ◆営業時間：9:00～18:00
- ◆定休日：土、日曜日・祝日

館林市に拠点を置く上野労務経営法律事務所の代表弁護士、上野俊夫氏がこのほど、企業の人事労務担当者や経営者に向けた新刊書籍『職場の問題社員に困ったら読む本』一冊が教える採用・懲戒

解雇の完全対策』（自由国民社・2025年12月発売）を出版した。近年増加する労務トラブルに対し、実務現場で役立つ対応策を事例や書式とともに解説した一冊となっている。昨今の労働環境では、勤務態度に問題がある社員やいわゆる“問題社員”への対応は、多くの中小企業にとって大きな課題となっている。一方で、事業主が誤解しやすいポイントも少なくない。例えば「採用後14日以内なら自由に解雇できる」「試用期間中の解雇は比較的容易」「解雇は1か月前に通告すれば問題ない」といった認識は、後に大きなトラブルへ発展する可能性がある。本書ではこうした誤解を丁寧に解きほぐし、採用段階での注意点、就業規則の整備、配置転換や賃金調整の活用など、段階的で安全な対応方法を具体的に提示している。上野弁護士は、こうした紛争の多くは制度や法律の理解不足だけでなく、「人をどう扱うか」という姿勢にも起因すると指摘する。人材不足が常態化する現在、拙速な事業拡大や人材確保を優先するあまり、雇用関係の基盤が脆弱になるケースも見受けられるという。同氏は、トラブルを未然に防ぐためには、根本的に人を大切にし、教育や環境整備に投資する視点が不可欠だと警鐘を鳴らす。

また上野弁護士は、雇用関係を「結婚」に例えて説明することがある。結婚が互いの理解と信頼の積み重ねで成り立つように、雇用も採用前の見極めや入社後の関係構築が重要であり、安易な判断は双方にとって不幸な結果を招きかねないという。地域に根ざした企業法務の専門家として長年中小企業を支援してきた同氏。今回の出版は、その豊富な実務経験を体系的にまとめたものとして、地域経営者の実務力向上への貢献が期待されている。



書籍はこちらから▲

装いも新たにリニューアルオープン！



三代目岡田や たんぼぼ亭

- ◆代表：滝澤 成彦
- ◆住所：館林市楠町 3648-1
- ◆TEL：0276-75-5312
- ◆営業時間：10:00～20:00
- ◆定休日：不定休

館林市楠町のアゼリアモール内に2020年オープンした「三代目岡田や たんぼぼ亭」。戦前、祖父の代から館林市内で魚屋を営んできた老舗の三代目が手がける寿司店だ。黒を基調とした店舗デザインに家紋を思わせるロゴを配し、伝統と現代性を融合させた空間へと改装。これは持続化補助金を活用した取り組みで、従来多かった高齢層に加え、若い世代の来店も目指している。最大の強みは、魚屋ならではの目利き。代表・滝澤成彦氏は埼玉県大宮市場へ週2回足を運び、自ら仕入れを行う。戦前から続く市場との信頼関係により、高級料亭でも扱う質の高い魚が入るといふ。「旬のものを仕入れる。旬は味が良く、価格も抑えられる。それが魚屋の基本」と語る。

ランチは海老天丼990円（税込）、特上寿司ランチ1430円（税込）と手頃な価格設定。味噌汁、サラダ、緑茶付きで満足度も高い。1かんから購入可能にし、“まずは体験”を促すことで大口注文やリピーター獲得へつなげる戦略だ。3人前から注文可能な「丸盆」もあり、予算に応じた相談にも柔軟に対応する。さらに店内モニターを導入し、寿司の鮮度やボリューム感を視覚的に発信。現在はパート・アルバイトも募集（時給1200円、9時～15時の間で3～4時間可、土日歓迎）しており、体制強化にも取り組む。老舗魚屋の誇りと挑戦。地域に根差しながら、新たな顧客層へと一歩踏み出している。

◆Instagram

